

# SALTA

Konrad Büttgenbach

A strategy board game for 2 players  
by Konrad Büttgenbach (1899)

## はじめに

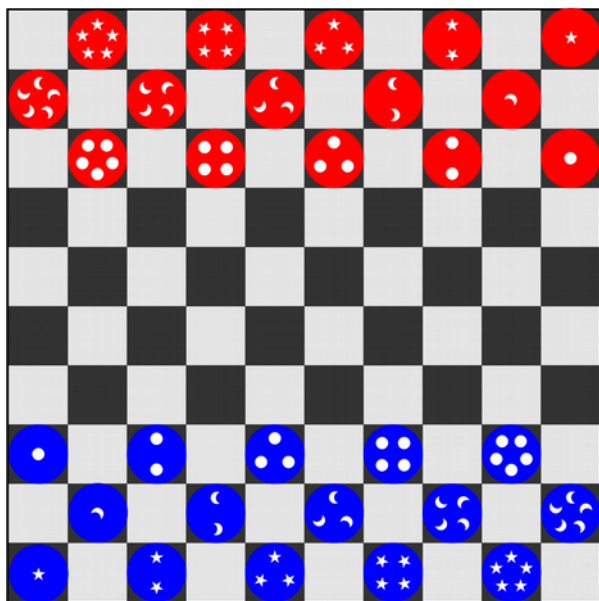
**サルタ (Salta)**は、自分のコマをそれと対応する相手の開始位置へ先に全て移動させることを目指す交差ゲームです。ゴールの位置は右から左に見て1~5の星(10列目)、1~5の月(9列目)、1~5の太陽(8列目)です。

## 内容物

- ボード(市松模様の10×10マス)
- 青のディスク 15枚 (太陽1~5、月1~5、星1~5)
- 赤のディスク 15枚 (太陽1~5、月1~5、星1~5)
- キャリングケース

## 準備

一方のプレイヤーは赤、もう一方のプレイヤーは青をプレイします。以下のようにボードを準備します(対応するシンボルにディスクを置きます)。



初期配置

## ルール

青プレイヤーから始め、プレイヤーは交互に手番を行います。

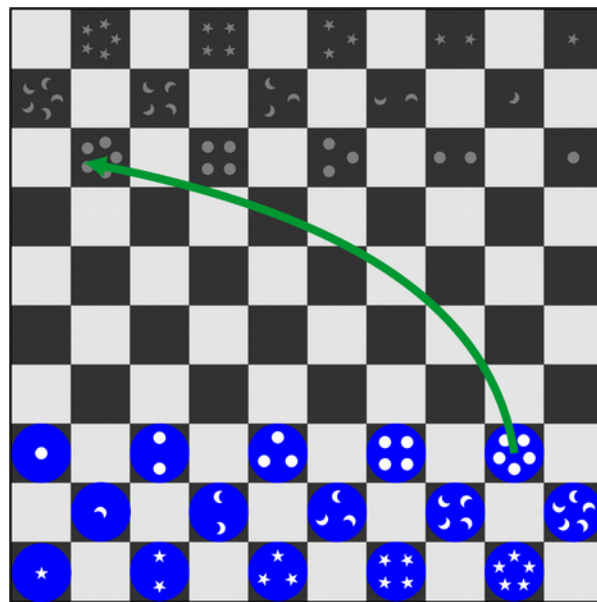
コマは**斜め方向**のいずれかの空きマスに1マス移動するか、もし斜めに隣接する相手のコマ1個の直後のマスが空いているならそのコマを**飛び越えなければなりません**(飛び越えるのは相手のコマだけです)が捕獲はしません。**サルタ**には捕獲がないのです。ジャンプは1回だけ(連続ジャンプはありません)ですが、複数の選択肢がある場合はプレイヤーが自由に選択することができます。

相手が手番を行えなくなるようにすることは禁止です。

## ゲーム終了

目標は、自分のコマをそれと対応する相手の開始位置(ボード上に示されています)へ先に全て移動させることです。ゴールの位置は右から左に見て1~5の星(10列目)、1~5の月(9列目)、1~5の太陽(8列目)です。これらの位置に全てのコマが先に到達したプレイヤーの勝ちです。必要に応じて相手がゴールの位置に到達するのに必要だった手番数を得点とすることができます。

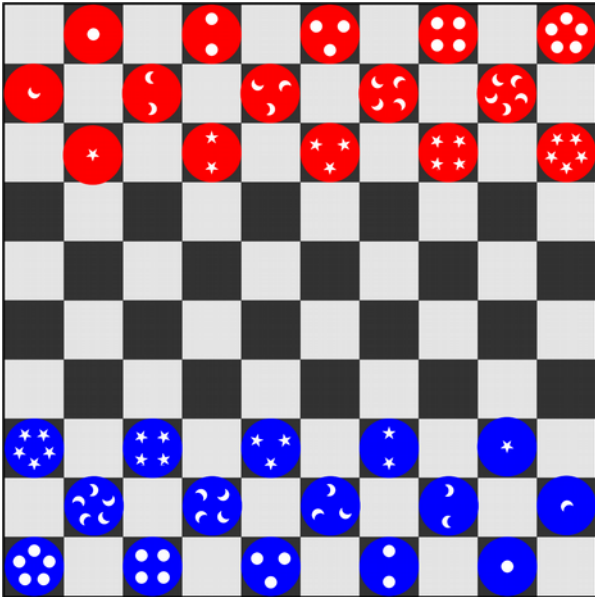
両プレイヤーが120手番を行ってどちらもゴール位置に到達していない場合、各プレイヤーはボードに相手のコマがなかったとしてゴールの位置に到達するのに必要だった手番数を比較し、その差を得点とします。



例: 青の5の太陽コマのゴール位置

## バリエーション (1901年版)

1901年版のルールでプレイしたい場合は以下のよう  
にボードを準備してください。



各プレイヤーの1列目と3列目が入れ替わっている  
ことに注意してください。コマの順序(左から右)  
も右から左に変わっています。